

第6回城端線・氷見線LRT化検討会 議事概要

1. 日時

令和5年3月30日（木）10時15分から11時15分まで

2. 場所

ウイングウイング高岡 研修室 503

3. 出席委員

田中座長、河村座長代理、篠田委員、齊藤(一)委員、齊藤(宗)委員、川村委員

4. 議事（概要）

○検討結果について

これまでの議論を踏まえ、本検討会としての検討結果をとりまとめ

5. 主な意見等

- ・LRT化する場合、現在の輸送力・速達性の確保や整備による長期の運休期間、冬期間の運行リスクが高いことが課題である。
- ・運休期間がなく現在の鉄道資産を最大限に活用できる新型鉄道車両の導入が望ましい。
- ・路線維持を最優先に、運行本数の増加、交通系ICカードの導入、両線の直通化などさらなる利便性向上を実現していくべきである。
- ・城端線・氷見線の新しい交通体系が地域にとって最適で持続可能なものとなるよう、また、速やかに国の補助メニューを活用できるよう、議論・検討を進めていくべきである。
- ・富山県地域交通戦略会議の基本的な方針・考え方を踏まえ、関係者間の役割分担・責任分担についての検討も必要である。